



令和7年10月28日
御前崎市立さくらこども園

先週のぐずついたお天気がうらめしくなるほど今週は晴天です。

先週 25 日（土）に幼児部の運動会がありました。前日の天気予報では、外での運動会は無理かもしれないと東小体育館にトラックや応援席を作っておきました。当日はじつに悩ましい天気でしたが、職員から勇気もらっての決断でした。途中で雨がぱらついて冷や冷やしましたが、子ども達の願いと保護者の皆様と職員の願いが雨雲を遠のけてくれ、最後まで行うことができました。

自分の力を精一杯出そうと歯をくいしばったり、友達と一緒に楽しいからこそ気持ちや力を合わせたりと様々な子どもたちの姿から、学年それぞれの育ちを見ていただけたことと思います。そして、お子さんの成長を感じられた方も多かったのではないかと思います。

お出かけいただいたご家族の皆様には、子ども達に温かい声援と励ましをたくさん送っていただきました。

また、天候に悩まされた私たちにも温かなご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

週明けの園庭では、幼児部の子ども達が学年入り混じって、リレーをしたり、バレーや踊りをしたりしています。年上の子が年下の子に教えたり、年下であっても自分の学年の競技であれば年上の子にも得意げに教えたり、そして、先生を真似て指示を出したりしながら、運動会を再現して余韻を楽しんでいます。

乳児部の小さな子ども達も、兄さん、お姉さんたちが、かけっこをしたり、踊りを踊ったりし始めると、じーっとその様子を見つめたり、まねして体を動かしてみたりしています。また、それぞれの園庭でブランコやジャングルジムに乗ったり、コンビカーに乗って運転をしたりといろいろな体を動かせるようになって、それがやりたくて、楽しくて動きが活発になっています。

爽やかな風が気持ちよく、体を動かして遊ぶには絶好の季節です。季節の移り変わりを肌で感じながら、思いっきり体を動かして、たくさんの体験を楽しんでほしいと思います。



職員研修へのご協力 ありがとうございました

8日（水）と10日（金）の職員研修の際には、早いお迎えにご協力いただき、多くの職員が研修に参加することができました。

子どもが自ら動いて遊びや生活を楽しみ、自立に向かうための教育、保育について学ぶことができ、子ども達の育ちをどうつなげて、子どもが自ら動きだす生活を実現させていくのか、これまでの保育を振り返り、見直すとても貴重な研修となりました。

ご協力、本当にありがとうございました。

○●○●○ 季節の変わり目です。体調に気を付けましょう！ ○●○●○

朝晩の寒暖差や、天気によって左右される気温に、体が追いつかず、発熱、咳、鼻水等の症状が現れ、体調を崩す子が増えてくる時期です。

園での薬の服用を希望するお子さんが増えてくるため、薬の服用については、下記をご理解ください。

なお、詳細は入園進級説明会で配布済の『園生活のしおり』をご覧ください。

- ☐ 時間で飲ませる必要がある薬、食前の薬、座薬は扱いません。目薬や塗り薬は基本的に扱いません。
- ☐ **園にお持ちいただく薬は、1回分にして、必ずお子さんの名前を書いて、ビニール袋に入れてください。**
- ☐ 与薬依頼票に記入し、**薬局から出される薬の説明書のコピー**と薬を添えて園長（職員室）に申し出てください。
与薬依頼票と**薬の説明書がない場合は飲ませられません。**与薬依頼票は、1回の与薬につき1枚記入です。
- ☐ **市販薬の与薬はお断りいたします。**

【下痢について】

風邪による胃腸炎等が流行る季節となり、下痢をする子も出てきます。下痢のほとんどは、ウィルス性の感染症です。症状が治まった後も1週間から1か月間は便にウィルスが排出され続けるものもあります。

下痢、腹痛、嘔吐などは新型コロナウイルス感染症の症状としても多く確認されています。

園では、手洗い、手指消毒、玩具や家具等の保育環境の消毒を行っています。全てのウィルスがなくなることはありません。子どもは口や鼻に手を持っていたり、食べ物を手づかみで食べたりすることが多いので、ウィルスを体内に取り込むリスクが高いです。

また、長時間にわたって集団で過ごす保育園ではウィルスが拡がりやすく、重症化してしまうお子さんもいます。症状が出ている間は登園を控え、自宅で療養してください。

食事をしても下痢にならず、ご家庭において普通便が確認できたら登園可能です。